

ボランティア活動2

【イ】奥さんは山神さんの活動について、どの様に感じましたか。

【有】趣味がボランティア活動と思うくらい、多くのボランティアを行っています。富士山の清掃なども積極的に参加していました。妻としては心配な面もありますが、本人の「人の為に役に立ちたい気持ち」と「実現するだけの体力」を尊重し応援しております。

【イ】有子さんのボランティア活動についても教えてください。

【有】主人と綿摘みと、仙台に2回ほど伺いました。Webサイトで仮設住宅の運動不足対策や話相手の募集を見て応募しました。私は体操教室などを行っており役に立てると感じました。震災が冬期だったこともあり、被災者の方の手足が冷えて青く冷えていた為アロマオイルなどでハンドマッサージを行い、震災当日の話も多く聞かせていただきました。その中で沿岸部と市外での格差がつらいと仰っていたのが印象的です。私たちへのメッセージとしては「すぐ逃げろ」これに尽きるとのお話でした。

力仕事の印象があり、女性では難しい印象でしたが、お話相手や、マッサージなど私でも出来る事もあると感じ、友人などを誘って再度訪問をさせていただきます。



現状の防災対策

【イ】現在の開成町の防災対策についてどのように思われますか？

【山】自然災害への備えや対応のみならず、「危機管理全般」において、もっとプロや経験者の力を活用すべきだと考えます。国に地域防災マネージャー制度という選択肢があります。町単独で難しい場合は広域で雇用する案も考えられます。異動などで担当される役所の方の手助けになるはずですが、備蓄は基本個人で用意することが前提となっておりますが、災害時は着の身着のまま避難することもあります。

各自自治会館などが地域避難所に指定されておりますが、備蓄品の種類と量はそれぞれに自治会の判断になっております。過去のデータによれば避難所を実際に利用した住民は平均約20%であり、仮に2日分必要だとする現在の町の備蓄量は足しません。また、多くの備蓄品は地上階に保管されており実際に洪水が発生した際には使い物にならなくなる可能性があります。



今後の防災対策

【イ】実現したい防災対策などありましたら、教えてください。

【山】まずは備蓄の拡充です。先に挙げたとおり必要な量をできる限り早期に満たさなければなりません。地域避難所毎に、何をどれだけ備蓄すべきか(毛布やオムツなど)や費用負担を明確化する必要があります。また、避難所のバリアフリー化も喫緊の課題です。

東日本大震災で最も困った事として、携帯電話が不通が上げられておりました。避難所のWi-Fi環境を整備する事で、安否確認が出来ない不安を解消出来ます。

また、酒匂川の洪水対策として「霞堤」を結ぶサイクリングコースの嵩上げが急務です。

開成町は土砂災害などの可能性は近隣の市町村よりは低いとされる為、災害復旧支援拠点としての役割が期待される所があります。しかし実際に機能するには広域的な訓練が不可欠です。



討議資料

(駅に行こう)

エキニコ町会議

3/16の開成駅急行停車で日頃から駅を利用している方に周辺環境を語っていただく場を開催いたします。利用者目線のご意見をください。10代・20代や子育て世代の参加を歓迎いたします。当日Twitterで参加可能。ご意見は「#エキニコ町」のハッシュタグを付けてツイート！

2019年3月23日(土)
13:00 ~ 14:30
パレットガーデン
自治会館2階会議室

語るテーマ
あったらいいな♥こんなモノ
開成駅のここが嫌い
私のお気に入りの駅はここ！

お問合せ先：oshiete@waiwai-kai.com 又は TEL：090-1402-0005

公開討論会

3/24(日) 15:30~
開成町福祉会館 多目的ホール

個人演説会

4/19(金) 18:30~
開成町町民センター 3F大会議室

山神ゆたか活動



開成駅や新松田駅、交差点などあいさつ運動を行っています。



ミニ集会も各地で開催大盛況です!!



事務所を開設しました。